

No.673 (改題633号)
2025年
9月24日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所：新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三蔵工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

ひょうご

碑

91
物語

相生の笹嶋(のしま)は、すでに神功皇后の伝説の中に登場する。神功皇后が新羅国を攻撃に行く時、中国鎮護の水軍の要港であった那波の入り江に停泊し、兵団に命じ

笹嶋跡の碑

て笹嶋にある笹嶋(のしま)を採らせた、というもの。

今から40年ほど前までは、東から海岸沿いに進んできた国道250号線は、ここでこの笹嶋にぶつかり、やむなく800mほど北上してから芦谷(おこく)川を渡り、街並みの中を南下して赤穂方面に向かったものだ。

1991年、念願のバイパス工事が完成した。芦谷川河口に相生大橋が架かり、東西の海岸線道路がつながり、道の駅



1991年に相生の芦谷川に相生大橋が架かりバイパス工事が完成したが、この工事のために笹嶋の北半分が削り取られたことに由来するのだろうか

もう、バイパスを通行することが当たり前になってしまったからだろうか。

【又】相生市役所から南へ約200m。い過去ということなのだろうか。



西谷文和さんがコーディネーターになり青木理さんと藤原辰史さんの対談が進められた=9月7日、伊丹市

次世代につなぐ組織建設を 新社会党兵庫県本部が定期大会



大会では自分たちの実際の活動をもとに見えた成果や課題について18人の代議員から活発な発言が相次いだ=8月31日、あすてっぴKOBÉ

参院選闘争などを総括

新社会党兵庫県本部(栗原富夫委員長)は8月31日、第31回定期大会を神戸市内で開いた。昨年6月の前大会からは、地域での「憲法を生かす会」を軸とした大衆闘争や地域ユニオン運動の取り組みながら、参院選・かい正康選挙の準備から始まり、総選挙、知事選、尼崎市議選・いのせ剛選挙、参院選兵庫選挙区・きし文男選挙と連発的に選挙闘争に取り組んできた1年余であった。大会は、それらのたたかいのなかで明らかになった成果とともに課題を明確にし、その課題にどう向き合っていくのが主な討論のテーマになった。

大会冒頭、あいさつに立った栗原委員長は、「この1年余、次世代につなぐ」ことを意識してほぼ通年的に各種選挙に取り組んできた。参院選では比例区・かい正康選挙とともに、兵庫選挙区選挙も必死でたたかい、比例票を約1万5千票増やして社民党の政変要件維持に貢献できた。しかし、選挙結果はいずれも厳しく、尼崎市議選では自治体選挙でも『政変選

択選挙』が浸透し、政変要件のない私たちの選挙戦略・戦術の組み立てが問われる結果となり、今後への教訓となった。改めて浮き彫りになったのは組織づくりの課題だ。党員・機関紙の拡大をはじめ、1総支部・支部1大衆学習会の組織化など『次世代につなぐ』組織建設にまい進しよう」と訴えた。

はじめ、地域での平和・民主主義・住民主権・脱原発などにかかわる大衆運動や地域ユニオン運動の取り組みの報告、違法を認めず居座り続ける齋藤知事問題など多方面からの発言が続いた。

原発VS食・農・平和

青木理さんと藤原辰史さんが対談

第14回さようなら原発1000人集会

「第14回さようなら原発1000人集会」が9月7日、伊丹市のいたみホールで開かれ、約840人が参加した。

今回のテーマは「原発VS食・農・平和と社会のしくみを変えるために」。ジャーナリストの西谷文和さんの進行でジャーナリストの青木理さんと歴史学者の藤原辰史さんが2時間にわたって対談した。

そのなかで、西谷さんの「ブルトニウムを生み出す原発=戦争では？」との問いに、藤原さんは「20世紀、戦車がトラクター、爆薬が化学肥料、毒ガスが農業に変わるなど、人殺しと効率よく生きることが全く同じ技術により発展したが、原発も同じで、巨大な企業の想像を超えるような動きがある」と答えた。青木さんは「取材を続ける飯館村では原発事故直後、102歳のおじいさんが

水脈

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬ」(秋立つ日詠 藤原敏行。8月上旬である。暑い日であったのであろうが、感性を揺さぶる風はあったのであろう)▼秋分を過ぎても酷暑は収まらない。高く澄んだ空に赤トンボは見えないが、飛び込んできたのは、自民党の騒動である。参院選後、沈滞気味の自民党であるが、総理・総裁の椅子となれば、手を挙げる人は片手の指にのぼるらしい。誰でも出来るど株が下がっているのだろうか。劣化展示会である。国民の中に根を失った浮草展示会である▼というものの20人以上の国会議員推薦人の確保から始まり、協力してくれそうな他党の見通し、首班指名、いずれは総選挙と苦労は大変であろう▼しかし劣化を厳しく反省すれば、われわれもまんなら他人事ではない。大衆の中に踏み込んでいられるわけの足元はぐらついていないか。われわれと結んでいるはずの大衆にしっかりと声をかけられているか。10月になって自民党総裁が決まっても、総理とは限らない。複雑多岐な政治情勢が繰り広げられるだろう▼大衆との結びつきが何より肝要な謎解きをしていかなければならない。われわれの時代が来る。さあ覚悟は?

私の主張

た。力が次第に失われてい

が一般化し、農山村の活

い、学校給食に提供する

鍋島浩一(兵庫農業問題懇談会)

これを機に農家の経営規模の拡大や機械化が

輸入が途絶すれば、この国の多くのひととは

に感銘を受けた人びとによって有機農業の試

梅原猛さんが遺した言葉だが、その典型が世

新米が出回ること米価は落ち着くのでは

この国の「食」は量も質も危険水域にある

イド系の殺虫剤への懸念の声が強まっている。

が注目されている。また、自然食品に関する

多可町議選 11.4告示/11.9投開票 新社会党県本部が 町口孝人さんを推薦



町口孝人さん

任期満了に伴い11月4

従事し、労働行政の中で

は25陣営が参加した。

インフォメーション

集会 ジェンダーや雇用

674

祝園弾薬庫への長射程 ミサイル配備を許さない

10・19に祝園現地で全国集会

祝園(ほうその)弾薬

4億円が祝園

陸自・祝園分屯地の入り口に通じる道路脇

に立つ看板。ここから奥には進めない



森に囲まれ外からは全

祝園全国集会

神戸港の軍事使用を許さない9・28市民集会

イスラエルはジェノサイドをやめろ

岡真理さん(早稲田大学文学部文学教授)が講演

フォーラムひょうごが主催

毎月第2、第4火曜日
にJR元町駅前でイスラエルによるガザ地区でのジェノサイドに抗議し、即時停戦を求めるスタンディング行動を継続している「フォーラム平和・人権・環境・ひょうご」(フォーラムひょうご)は9月9日、「イスラエルはジェノサイドをやめろ」

と掲げた講演会を、岡真理さん(早稲田大学文学部文学教授、京都大学名誉教授)を講師に招いて神戸市内で開いた。約100人が参加した。

「ガザの『ジェノサイド』とは何か」と題した講演では、岡真理さんはまず、ガザの地理や歴史を振り返りながら、イス



岡真理さんはパレスチナ人の存在そのものを抹殺しようとするイスラエルのジェノサイドを厳しく糾弾しこの不正を追及し続けようと訴えた。9月9日、神戸市教育会館



講演する岡真理さん

2025教育セミナー

今の学校の息苦しさを考える

住友剛さん(京都精華大学教授)が講演

そのものを抹殺する構造的な暴力「ジェノサイド」と述べ、これを不正だと言いつけることの必要性を訴えた。

また、質疑応答では、多くの質問にすべてい

ねいに答えた末に、日本でもガザのジェノサイドに対して一人からでも声をあげ、行動していくことから始めようと締めくくった。

(中村)

「2025教育セミナー」が9月7日、神戸市内で開かれた。講師は京都精華大学教授の住友剛さんで、「今の学校の息苦しさを考えるために子どもたちの『しんどさ』に向き合おう」というテーマでの講演だった。

いま、小・中学校の不登校が34万6千人、高校も含めると41万人を超えている。教員の精神疾患による病欠休職者は7千人を超え、どちらも過去最高である。その大きな原因に、子どもや教員が日々感じる今の学校の「息苦しさ」があるのではないかと考えられる。

住友さんはまさにそのことを指摘。子どもや若



「今の学校の息苦しさを考えるために」とのテーマで住友剛さんが講演した教育セミナー＝9月7日、神戸市

者には、大人から相対的に自立した時間や仲間関係が必要ではないかと投げかける。いじめや不登校への対応として、問題行動の早期発見のために子どもへの監視を強めていることが「息苦しさ」を生み、それから逃れようとするものが増えていくのではと述べた。

また、今の学校を「量産型モビルスーツの製造工場」と例え、規格化された労働力の育成を効率よく進める場所になって

従って事業費・利益は全てが市民・利用者の電気料金なのだ。利益配分は利用者すべてに還元されるべきものである。

三宮マルイ前でのピラの取りは通行人の数からすると決して良くない。しかし、月1回の街宣では少ないながらも数十人から100人程がピラを受け取ってくれ、話しかけてくる人がいるのが運動の支えになっている。その街宣の後、元町商店

地域ユニオン あちこちあれこれ

4月23日発行の665号のこの欄で、熟年者ユニオンが22年間継続して行ってきたサンドイッチマンデモの報告をしたが、

今回はその続編の報告。例年8月はデモは休みとしているが、今年の夏は前もって猛暑が予測されたので7、8月の2か月を休みと決めた。名の通り熟年者ユニオンは高齢者集団である。交通整理で同行する警官が体を心配してへれる。

また、現在勤めている企業から「独立して個人事業主にならないか」との誘いがあった話をもとに、個人事業主になった場合は企業は各種保険

サンドイッチマンデモ・続編

社会保障から切り離されてしまつので軽々しく会社の甘言に乗ってはいけな

480人を無料招待すると公表している。明らかに無駄使いだ。そもそも関電は公益事業者であり、料金設定では法的に適正な利益が保障されている。

街までデモを行っている。最近ではデモ参加者が10人程度で推移しており、早晩中止の話があったり、否、最後の1人になるまで続けようとの意見もあり、サンドイッチマンデモは苦境にあるのが実情だ。会員はもちろん、会員以外の人の参加が望まれている。毎月第3水曜日、三宮マルイ前に午後2時に結集されたし！

菅沼祥三(熟年者ユニオン副会長)

9月からのお米の価格について

春から安定しなかったお米の出荷量や価格ですが、新米が出回り始め、量的には当分の間、安定できると見込んでいます。

しかし、価格については皆様もご承知のように高騰が続いています。背景には、あまりにも安価に抑えられてきた生産者への支払いに対し、ようやく正当な支払いをしなければ今後の米生産が維持できないとの理解が広がり始め、各地のJA概算金の価格が上がったこともあります。さらに今夏の異常気象などから民間卸業者も含め、流通量を確保しようと競争していることも否めません。

店頭ではすでに5^キ5000円は当たり前になってきました。弊社は先月からJA概算金の推移など状況をみてきましたが、仕入れ先、生産者との話し合いを進めて、今月9月配達分から当分の間、以下の価格とさせていただきます。今後の状況変化によって、見直しせざるを得ないことがあるかもしれませんが、どうかご理解をお願いします。



でかんしょ米	5 ^キ □	5,000円
でかんしょ米	3 ^キ □	3,000円
ささや米	5 ^キ □	5,000円
ささや米・玄米	5 ^キ □	4,800円

表示価格は、
すべて税込み金額です。

(有)ぴいぷる
電話/ファックス 078(531)0135



おんなの目

母の自宅の電気が止まった。電気料金を滞納したのだ。ずっと払っていたが、6月分の2480円の支払いが漏れていた。

督促状が来ていたのに、払わなかったのだから、母が悪い。と言うよりも、2週間に一度会っていたのに、気付かなかった私が悪い。

母が入居していたサービス付き高齢者住宅から、電気が止まった旨の連絡が入ったのは、夜だった。たまたま、後輩のお父様が逝去され、お通夜に参列するため、仕事を終えて大阪の千林に行った日だった。

帰って、急いで夕食を摂り、車で母のマンションへ向かった。

電気が切れているからインターフォンも鳴らない。フロントに断りを入れて、鍵を借りた。母が玄関にチェーンロックを掛けていたので入れない。外から声をかけても返事が無い。暑い夜だった。心配になり、管理人の方にチェーンロックを切ってもらった。

暑い部屋のソファでラニンクを着て、母が寝ていた。

「お母さん、暑いでしょう。どうして網戸にしないの？」と声をかけると、「何事なの？」と大層びっくりした様子だった。「この部屋には網戸が無いのよ」と応えるので、

掃き出し窓のロールスクリーンを上げると、網戸がちゃんとあった。風を入れ、持参の懐中電灯で、納付書を探す。

「暑いし、こんど外出した時に、払おうと思っていたの」と、おっとり話す母。納付書と督促状は、母のお出かけ用のバッグに入っていた。「明日の朝

母と自分の老いに向き合う

ボストの中身を確認。納付漏れが無いように、全て口座振替の手続きをした。

私自身、今年の3月末に定年退職し、再雇用でシニア枠で勤務している。今は元氣だが、母の姿はやがて自分の行く道だ。終の棲家をどうするか、いつ運転免許を返納するか。年を取ると判断出来なくなるから、一定のラインは決めておこうと思った。

今年の人間ドックで、自身の認知症の可能性を探る検査を受けた。睡眠時間の確保が大切だということがわかったので、それからは気を付けている。

山に登る、本を読む、漫画を描く、パッチワーク手芸、お菓子作り、名探偵コナンのキャラクターの推し活、たまの友人とのランチ、ラニンク、楽しみはたくさんあるが、母と自分の老いに向き合う、終活に向けての準備も、時間配分を考えていかねばならない。

職場の労働組合の役員は降りたけれど、反戦平和活動は、関わっていききたいし、大切にしたいと思っている。

(猫娘)

自宅で納付書を確認すると、ペイペイで払えた。翌朝、電気会社に連絡すると、もう通電しました、との返事であった。実は水道料金も払っていない月があったが、水は止まらないうらい。

翌日、冷蔵庫の中のモノはぜんぶ捨ててもらい、訂正します。【編集部】

『日航123便墜落 圧力隔壁説をくつつがえす』

青山透子著／河出文庫／960円(税込)

1985年の8月12日に発生した「日航123便墜落事故」から今年で40年を迎えた。520人が犠牲になったこの事故は、今もなお世界で最悪の事故と言われている。この日は遺族や関係者による御霊鷹山の慰霊登山が行われ、ふもとは追悼慰霊式が行われた。テレビも新聞もこの日は判を押したように、これらの行事を大きく取り上げ報道している。しかし、それ以上の報道はない。

皆さんは、「日航123便の真相を明らかにする会」の存在とその活動をご存じだろうか。日航123便墜落事故の原因は後部圧力隔壁破壊の修理ミスとされている。この事故原因に疑問を持ち続けている遺族や関係者によって組織され、「相模湾から日航123便の機体残骸を引き上げて墜落原因

本棚

国宝

立花喜久雄（吉沢亮）は、長崎の任侠一門に生まれた。父は立花組の組長だが、組同士の抗争で死亡。喜久雄は、上方歌舞伎の名門の長で看板役者の花井半二郎（渡辺謙）に芸の才能を買われ、歌舞伎の世界に入っていく。しかしそこには、生まれ

ながらに将来が約束され、歌舞伎役者になることが運命づけられている半二郎の御曹司・俊介（花井半弥（横浜流星））がいた。二人は、親友でもありライバルでもあるという関係の中でお互い切磋琢磨していくが、喜久雄が一步早く才能を開花させていくにつれ、俊介は徐々に葛藤を抱き始める。



のかと、半二郎の意見に反対したが、半二郎の芸に対する執念は妥協を許さない。半二郎の稽古は厳しい。「曾根崎心中」でお初が「徳さま、うれしい」と言う場面があるが、その

「うれしい」には、死の決意が入っていないかならないと言う。そうやって、やっと歌舞伎という世界が作り上げられる。しかし、一体何が作り上げられるのか。観る者と演じる者が一体となる瞬間であるのではないかと私は思う。

私は、橋之助と福助が演じる「一条戻り橋」の最後の場面、急に鳥肌が立ち、涙があふれて止まらないという体験をしたことがある。あれは何だったんだろう。妥協を許さないという歌舞伎の世界に一瞬でも引きずり込まれたのだろうか。

「半二郎」の襲名披露の舞台の上で、花井半二郎は吐血して急逝する。父が亡くなって半弥は時々顔を見せるようになった。しかし半弥は糖尿

日航123便墜落の真相を追う

より犠牲となった客室乗務員の同僚である。私は小さな興味から著者の作品をいくつか読んできた。『日航123便墜落の真相を追う』『日航123便墜落 疑惑の始まり』『日航123便墜落 遺物は真相を語る』『日航123便墜落の波紋』そして本書『日航123便墜落 圧力隔壁説をくつつがえす』（いずれも河出文庫）である。これらの作品はいずれも事故原因に疑問を投げかけるものであるが、著者の疑問は実に真実なものであり、事故調査委員会も日本航

空もその疑問に真摯に答えるべきである。本書では2つの真実が語られる。1つは、事故当時、明確に「日航機墜落事件」と書かれた外務省の公文書が発見される。事故から2日後、「レーガン大統領発中曽根総理あて見舞いの書簡」に、外務省職員は「日航機墜落事件」と手書きで記入している。さらに事故から10日後、「レーガン大統領よりの見舞い電に対する総理よりの謝電」にも担当者は「JAL墜落事件」と書いた。

外務省は当初から事故ではなく事件と認識していたことがわかる。2つは、膨大な「日航123便の事故調査報告書」の中から「異常外力の発生」の事実を発見したところである。それによると、デジタルの飛行データ記録装置が示した数値から「このことから異常外力が発生したと考えなければ記録値の説明が出来ないことがわかった」とある。調査報告書は異常外力が存在したことを認めたが、それが何かは推定できなかったとまとめている。著者はこう指摘す

る。「異常外力発生が事の発端であり、隔壁破壊は直接の事故原因ではない」と。では外からの力とは何であったのか。

本書以外にも事故原因に疑問を投げかける証言や発見は幾つもある。①この目撃証言は無視できない。静岡県藤枝市市民が戦闘機ファントム2機がジャンボジェットの飛び去った富士山方向へ向かったことを目撃し、墜落現場の上野村小学生と大人たちが大きい飛行機と小さいジェット機2機の追いかけていた状態を目撃する。②検視医師たちが黒焦げの炭化状態が異常すぎると気づき、「遺体が二度焼かれた痕跡」を検死報告書に書いた。③墜落現場の住民たちは、即座に墜落場所を警察等に伝え、上野村村長は県、警察、政府に連絡したが、発見は翌朝と報道される。これらの証言をどう理解すればよいのか。しかし、どのような証言があろうとも、どのような発見があろうともこの国の新聞やテレビが伝えることはない。真相はなお不明であるが、何か大きな不都合な真実があるように思われてならない。

(金平 博)

シネマランド

見応え十分の話題の大ヒット作品

「半二郎」の襲名披露の舞台の上で、花井半二郎は吐血して急逝する。父が亡くなって半弥は時々顔を見せるようになった。しかし半弥は糖尿

病で壊死した片足を切断することになった。半弥

「半二郎」の襲名披露の舞台の上で、花井半二郎は吐血して急逝する。父が亡くなって半弥は時々顔を見せるようになった。しかし半弥は糖尿

監督 李相日/2025年/日本/175分